

ネガティブを吹き飛ばす“超”繁盛の法則 実践事例 紹介

第2号は...『紺屋町 岡むらうさく』 宣伝ナシ 看板ナシ メニューに値段ナシ 非常識な店づくりで開店3ヶ月目売上 1400 万

<会社概要>

社名 有限会社 岡むら浪漫
 店名 遊酒 岡むら 他計5店舗展開
 本社 静岡県藤枝市青木3丁目7番1号
 第一松浦ビル206
 設立 -
 資本金 -
 代表 岡村 佳明さん
 売上高 -
 従業員数 70名(社員28名)
 店舗数 5店舗(直営5)
 ホームページ <http://www.okamura-wa.com>

<各店舗のプロフィール> *「 / 」以下は開店日

遊酒 岡むら 平均月商 800 万円
 70坪 100席 / 1999.7.31
 静岡県藤枝市大東町 195-1

喰処ばぁ 幸 平均月商 700 万円
 40坪 60席 / 2000.5.27
 静岡県屋棟原郡吉田町住吉 3566-2

五十海 しいぼー 平均月商 650 万円
 50坪 90席 / 2004.3.22
 静岡県藤枝市五十海 621-18

岡むらのぼる 平均月商 1100 万円
 70坪 120席 / 2006.3.19
 静岡県島田市日之出町 2-4

岡むらうさく 平均月商 1000 万円
 80坪 120席 / 2007.10.17
 静岡県静岡市葵区紺屋町 14-2

<経営理念> 「居酒屋づくり」は「人づくり」...居酒屋の原点を継承する

人を愛し、自分を愛し、夢を愛し、全ての事に感謝できる人材の育成を根気よく行いながら、お客様の喜びと関係業者様、そして社員の幸福に貢献できる店舗を、必要とされる数だけ増やしていく。そして、お客様満足を超越し感動を追及する、学びの場であり続ける...

「感動する」とは、自分が大切にされていると感じる時であり、それはお客様を愛することでしかできません。愛する人のためだからこそ、かゆいところに手が届く、これが本当の「おもてなし」ではないかと考えます。調理や接客の技術は訓練することで上達します。しかし愛の伴わない技術は人を驚かすことは出来ても、人の心を温めることはできません。

赤ちょうちんの灯りの奥に、人の温もりを求めていた時代...そんな愛情を継承できるスタッフの育成に力を注ぎ「関る全ての人に新たな感動と心の温もりを発信する人間集団」として、地域社会に、日本に、そして世界に貢献できるよう、未来に向かって一步一步、限りない挑戦を確実な足取りで歩み続けます。

岡村さんの“笑”売哲学!...「岡むら浪漫」の非常識な店づくりこそ、実は商いの原点。

“人に会いにくる”が居酒屋の原点

プロサーファーを目指す傍ら、母親の経営する居酒屋を手伝い始めて10年。岡村社長33歳。お店の4回目のリニューアルをきっかけに、本気で“居酒屋業”に取り込む事を決意。手始めに、目指す居酒屋の姿を探し求め全国の繁盛店を訪ね歩く。

“良い店”はいっぱいあったが、“又行きたい店”が中々ない...。模索が続く中、何度も行きたくなる店に出会った。その名は東京・渋谷の“楽”。新幹線に乗り、幾度も通うその店の魅力を改めて考え、たどりついた結論。自分の足元にその答えがあった。母親の手がける居酒屋。赤提灯の明りに集う常連客は、料理でも環境でもなく、女将である母親に会いに来ていることに思い当たる。以来この気付きが岡村社長の居酒屋作りの根っことなり、“又行きたい店”には人づくりが不可欠とし、「人間力」アップの取り組みが始まった。

使い勝手のいい店にしたい!

「宣伝なし、看板なし、メニューに値段なし」80坪120席、客席2層で展開する岡むら浪漫の最新店舗「岡むらうさく」。この大型店ですらオーダーエントリーシステムなし。手書きでオーダーを通す。岡むら浪漫の店には非常識がいっぱい。確かに女将とカウンター越しに向き合い、飲食する赤提灯の店には、壁に貼り付けた品書き程度、値段もなし...宣伝もなし。女将と常連客との信頼関係と口コミのみで成り立つ。そんな居酒屋の原点を守るべく、常連客との絆を大切にしながら、口コミのみの商いを展開。5店舗とも盛況。

「使い勝手のいい店にはしたくない」この言葉に、居酒屋の原点にこだわる岡村社長の姿勢が凝縮されています。

辞書を変えたい

居酒屋とは? 「庶民に安上がりで酒を飲ませる店」と辞書にあります。(三省堂:新明解国語辞典より) 外食で、居酒屋で働く人たちに誇りがもてる環境を提供したい。大切な人、家族に自慢できる職場作りをしたい。それが岡村社長の一番の使命。

地元藤枝で「居酒屋から藤枝を元気にする会」を発足。勉強会やキャンペーン等様々な取り組みを実施。自社でもwebでエールを送る「岡むら塾」や様々な講師を招く勉強会「寺子屋」を運営。居酒屋、岡村ブランドの磨き上げを地道に着実に進めています。



最新店舗「岡むらうさく」はラブホテルの1F&B1F 店前道路に看板なし



ホテル入口と共通の階段を下り、B1Fの店舗入口へ向う。

左写真がB1F入口。お客様はここまで手探りで訪ねる。ちなみにこの先がホテルの入口です。



値段なし 手書きフードメニュー